

福島県年次経済報告書

(平成26年)



※平成26年一年間の各種指標の動きを「福島県年次経済報告書」としてまとめたものです。

平成26年福島県経済概況

<p>総合判断 判断変化方向</p> 	<p>平成26年(2014年)の福島県経済は、平成26年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要と、その後の反動減により、大きな振れや回復の遅れが個人消費など一部にみられたものの、全体としては、東日本大震災及び原発事故からの復興需要に支えられ、雇用・労働を中心に持ち直しの動きとなった。</p>
--	---

個別判断

分野別	変化方向	判断
個人消費		消費税率引き上げの影響などから、4月以降一部に弱い動きがみられたが、総じて堅調に推移した。
建設需要		復興需要や補助金の政策効果などから、月々に振れを伴いながら、民間需要、公共工事ともに堅調に推移した。
生産活動		年前半は持ち直しの動き、年後半は弱めの動きとなった。
雇用・労働		地域や業種にばらつきがあるものの、改善の動きが続いた。
物価		消費税率引き上げの影響などから、国内企業物価指数及び消費者物価指数ともに前年を上回った。
企業・金融		企業倒産は低水準のなかで、件数は前年を下回り、負債総額は年後半の中・大規模倒産により前年を上回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回り、金利は低下した。

年次経済報告書のポイント

- ① 平成26年の福島県経済を振り返ると、消費税率引き上げの影響による振れが一部にみられたものの、復興需要などを背景に、建設需要の堅調と、雇用・労働の着実な改善をみせたことから、全体としては持ち直しの動きとなった。
- ② 生産活動は、鉱工業生産指数、出荷指数が、年前半の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要などから、はん用・生産用・業務用機械工業、化学工業や電子部品・デバイス工業などが好調となり、年全体でも前年を上回る動きとなった。
- ③ 雇用は、求人倍率が復興需要などを背景に、職業や地域に格差があるものの、全体では高倍率となった。労働は、現金給与総額指数及び所定外労働時間指数が、医療・福祉などの産業で高水準となり、全体でも前年を上回る動きとなった。
- ④ 物価は、福島市消費者物価指数が、消費税率引き上げの影響などから主要な品目で前年から上昇した。光熱・水道は電気代などにより、食料は生鮮魚介や肉類などにより大きく前年を上回る動きとなった。